

若手研究者のための公的研究費獲得戦略

第1回 大学院医学研究科FDワークショップ 第91回 医学教育ワークショップ

日本大学大学院医学研究科では、教員の教育研究能力を組織的に向上する取り組みを行っています。大学院医学研究科FDワークショップは、学生自身も参加する形で、学内外から研究に関する情報収集や戦略について研修する場を設けるために計画されました。まず第1回は、若手研究者のための公的研究費獲得戦略として、本学の若手研究者に、科学研究費取得による研究推進について簡単にお話しいただき、特別講演として、玉川大学脳科学研究所教授の松田哲也先生をお迎えして、公的研究費の仕組みや獲得のための戦略についてお話しいただきます。

松田先生は、玉川大学脳科学研究所教授として、脳の機能画像研究を推進する傍ら、3年前までは文科省研究振興局学術研究助成課の学術調査官として、文部科学省の科学研究費について、現在は文科省研究振興局の学術調査官と日本医療研究開発機構(AMED)のプログラムオフィサーとして活躍されています。

公的研究費の獲得は、大学院教員の教育研究能力向上に重要であるだけでなく、大学院生にとっては将来の教育者・研究者としてのキャリアパスを展望するのに大きく役立つと考えます。

皆様ふるってご参加下さい。

日時: 2016年7月14日18時～19時45分

場所: リサーチセンター4階ホール

対象: 医学部専任教員, 大学院担当教員,
専修医・専修指導医, 専修研究員, ポスドク, 研究員,
若手研究者, 大学院生, 学部学生

事前申込不要
参加費無料

1. 若手研究者から情報提供: ー研究立ち上げにおける公的研究費の重要性ー

- (1) 鈴木正泰 精神医学系精神医学分野 助教
- (2) 金田英秀 外科学系小児外科学分野 助手

2. 特別講演: 『公的研究費の仕組みと獲得に向けて』

松田哲也 玉川大学脳科学研究所／大学院脳科学研究科 教授

- ・文部科学省研究振興局学術調査官(ライフサイエンス)(併任)
- ・日本医療研究開発機構「革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明プロジェクト」プログラムオフィサー(PO)

共催: 医学部研究委員会・医学部学務委員会